

坂口賞制定の由来

第一期（黎明期、明治 34 年～大正 15 年）時代には泌尿器科学に関する研究論文のうち優秀なるものが日本泌尿器科学会雑誌に掲載されるものが甚だ少なく、却って皮膚科泌尿器科雑誌や外科学会雑誌の方に優秀業績が発表される傾向があるのを憂いて、坂口 勇（第 9 回会長）が日本泌尿器科学発展隆盛を計る目的で論文懸賞の資金として、金若干円を学会に寄付した。それは昭和 11 年 3 月のことである。

当時、日本泌尿器科学会会長であった高橋 明は、同年 4 月の総会の席上でこの旨を披露報告し、且この論文懸賞を坂口賞とすることにした。